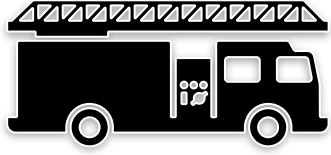


Soka Yashio



Fire Bureau



草加八潮消防局 職員募集案内

草加八潮消防局 総務課

〒340-0012 埼玉県草加市神明2-2-2

TEL : 048-924-2112

URL : <https://soka-yashio119.jp>



組織概要

草加八潮消防局は、平成28年4月、埼玉県の東南部に位置する草加市と八潮市の消防本部が合併し誕生しました。消防体制を強化し、災害の多様化や住民ニーズの変化に対応するために、消防広域化が行われました。



	草加市	八潮市	合計
管轄人口	250,579人	92,496人	343,075人
管轄面積	27.46 k㎡	18.02 k㎡	45.48 k㎡

※令和3年4月1日現在

職員

消防吏員数343人

(令和3年4月1日現在 再任用職員を含む)

草加八潮消防局では21人の女性消防士が活躍中

「消防は男の職場」というイメージがあるようですが、そんなことはありません。傷病者が女性やお子さんである場合、女性の隊員が来てくれて安心したという声をいただくこともたくさんあります。

活躍の場は消防隊、救急隊、毎日勤務と幅広く、妊娠・出産や子育てというライフイベントを経て、さらに活躍している職員がいます。

女性の配置状況

交替制勤務：11人

(救急隊：8人 消防隊：2人 指揮隊：1人)

毎日勤務：10人



採用後

消防士の初めの一步 初任教育

消防吏員として新たに採用された職員は、埼玉県消防学校に入校し、約6か月の初任教育を受けます。初任教育は全寮制で、県内の各消防本部(局)の仲間たちと共に、消火活動の基本的な技術や業務の知識、強靱な体力や精神力など、消防士としての基礎を身につける場です。

※初任教育入校時期は、採用人数等の状況により入庁2年目以降となることがあります。

初任教育修了後

初任教育修了後は、基本的に消防隊に配属となります。消防の基本となる消防隊で隊員や機関員(運転手)として経験を積み、職員の希望や能力等に応じて、救助隊、救急隊などに異動が行われます。

救助隊・高度救助隊になるには

高度救助隊になるまでの例



消防学校の専科教育を受け、特別救助隊に配置、高度救助訓練を受け、高度救助隊に配置されます。



救急救命士になるには



部隊詳細

指揮隊

限られた部隊で災害に立ち向かうには、効率的な部隊運用が重要です。得られた情報や変化する状況から素早く判断し、指示を出す指揮隊は、災害現場の司令塔の役割を担っています。



消防隊

消防隊は消防の基本となる部隊です。火災に対する消火活動だけでなく、救急隊の支援や、防火広報、一般の方に対する消防訓練など、幅広く活躍しています。

救急隊

急病人や交通事故の負傷者が発生した現場に出動し、素早く状態を見極めて、適切な応急処置を施し、迅速に医療機関に搬送する、病院前救護の専門部隊です。



救助隊

様々な資機材を使いこなし、屈強な肉体と、磨き上げた技術で災害に立ち向かう人命救助のプロフェッショナルです。常に万全の態勢で災害に立ち向かえるよう、日々の厳しい訓練を欠かしません。

特殊災害隊

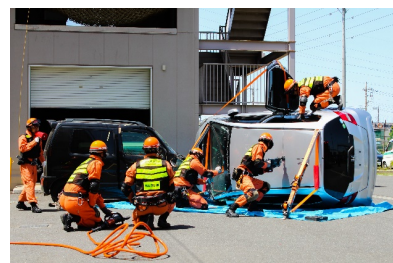
CBRNE災害のうち、C災害（化学物質によるもの）、B災害（病原体や生物兵器によるもの）に対応します。陽圧型化学防護服や除染テント、各種検知器等を装備し、毒劇物など危険性の高い物質に対する知識を有する隊員が配置される、特殊性の高い専門部隊です。



高度救助隊

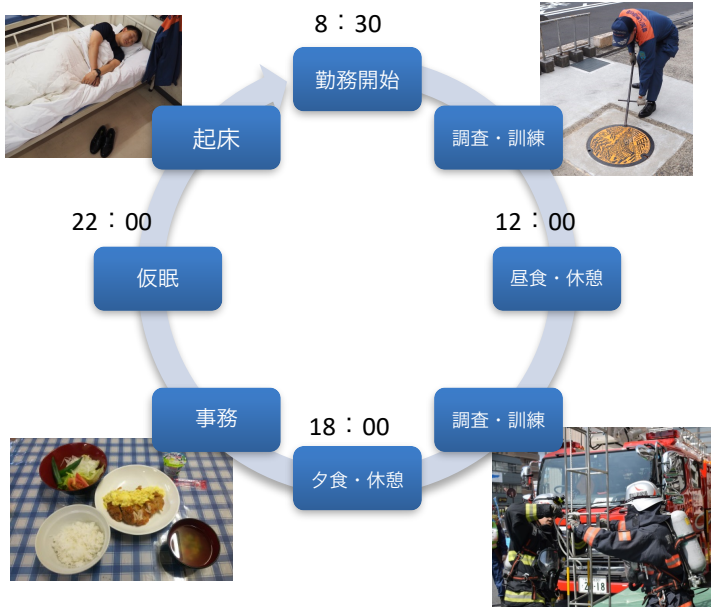
高度救助隊は人命救助に関する専門的かつ高度な教育を受けた隊員と高度救助資機材等を整備した車両で編成された部隊です。中核市等に配置することが定められており、草加八潮消防局では、平成28年の広域化により配備されました。（埼玉県で8番目）

高度救助隊では、生き埋めとなっている生存者の位置を特定する地中音響探知機や、高感度カメラの付いたスコープを挿入し生存者をモニターで確認、環境測定や空気ボンベによる送気が可能な画像探索器、鮮明に暗所の状況を確認することができる夜間用暗視装置、活動中の隊員等に危険を知らせる地震警報器など、大規模な災害にも対応できる資機材を備えています。



交替制勤務の1日

交替制勤務は午前8時30分から翌日の午前8時30分まで勤務に就きます。24時間のうち15時間30分は正規の勤務時間で、他の時間は休憩や仮眠時間となっています。草加八潮消防局では2交替勤務がとられています。



【2交替制勤務サイクルの例】

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
勤務	当直	非番	当直	非番	週休日	週休日	当直	非番	当直	非番	当直	非番

当直翌日は非番日となり、勤務の必要がありません。週休日は毎日勤務の土曜日・日曜日と同様のものです。当直は月に10~11回程度となり、その他の日は休養や自己啓発、余暇に利用できます。

救助指導会での活躍

陸上の部

平成28年度 ロープ応用登はん 全国大会出場

令和元年度 ほふく救出 全国大会出場



水上の部

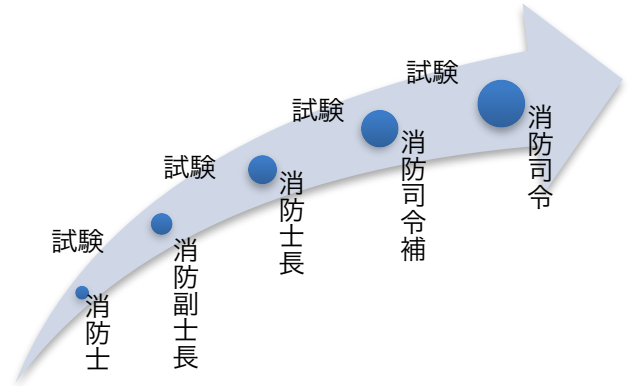
平成28年度 複合検索 全国大会出場

溺者搬送 全国大会出場

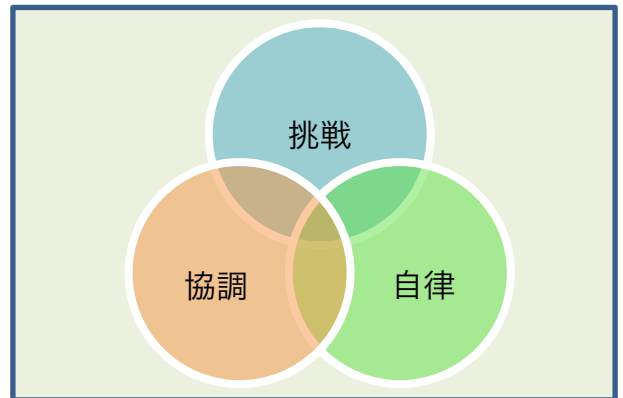


実力主義の昇任制度

草加八潮消防局では、次の階級に昇任するために、多くの試験があります。これは、年功序列ではなく、努力した職員を認め、昇任させる実力主義に基づいた取り組みです。



私たちが求める職員像



挑戦

現状に満足せず、常に向上と改善を求めて挑戦する姿勢を持つ人

協調

共に働く仲間を支え、繋がりを強固にすることで組織力を高められる人

自律

プロフェッショナルとしての自覚を持ち、いかなる状況でも自らを律し、冷静に行動できる人